
裏魔法先生
ジャムま!
FRUITSJAM PRESENTS
水鏡
6
ONLY



裏魔法先生
ジャムま!
FRUITSJAM PRESENTS
6
みかがみ そう
水鏡 想



CONTENTS



だ…
大丈夫やって!
風呂ぐらい一人で入れ…
ダメよ
ずるり ずるり
そうやって10分ぐらいで済ませちゃうつもりでしょ?
私がちゃんと洗ってあげる
スミズミまで
さ 一緒に入りましょう
わ
ぐい
シャワー


シャアアアア
ぽゆんぽゆん
コラー
ドキッ
そんなトコにつっ立ってないでこっちに来て
ホラホラ
わ
わ
わ
ぷるぷるるん。


どぉ?
かゆいとこ
ない?
がしっ がしっ
いや…
全然大丈…
ん
おちつけ おちつけ
ドキ ドキ
ばぃぃん
ぶわぁ
や…
パシッ
やっぱり
自分でやるわ
ばっ
…アラ
?
遠慮しなくて
いいのよ?
べ…別にそういう
ワケやないけど…


と…とにかく
あとはええから
ちづる姉ちゃんは
湯船につかって
てーな
ぶぅん
ぶん
やらしいんだぁ
そんな目で
私のカラダ
見てたのね？
ゴ・・
ゴメンなさ・・
いいのよ
年頃の
男の子ですものね
ぽふ
ぎゅう
わ・っ


今…
楽にしてあげるわね…
くに
あ…
もみっ
…え？
はう
あっ
れるっ
ぢゅ
ん…ちゅ
う…
あー
んっ
む
ふわ
んあッ
アカンてちづる姉ちゃ…
そんなんしたら…
んっ
んぼっ
じゅぼっ


そんなにしたら・なぁに?
あ…アカンて
な…なんか出てまう…っ
むにゅ
ぽにゅ
かまわないわ
う
あ
いっぱい出して
たぷ たぷ
はっ も…う
うあっ
んっ
ドクン
ビュク
ぷはっ
ビュビュッ
ビク ビクン


フフー
すごい量ー
ねぇ 小太郎君ー
はぁ
はぁ
今度は 私にも 気持ちいいコト してくれる・・？
あ…もう 濡れてる…
ぱくっ
!!


あ・・うん
そんな感じ・っ
ピチュ
ピチュ
あ・・は
しょ・・上手よ小太郎君・・・
ぢゅ
ちゃぷ
レロ
ペロ
お願い・・
指・入れてくちゅくちゅってして・・
こ・・こう?
ビクッ!
ビクン!
ずにゅうう
っ…ああはぁあっ


んあーーっ
イキナリ
3本もぉーっ
くちゃ
くちゃ
くちゅ
うわ…っ
きゅきゅっと
締め付けて
くる
あ
あぁ…う
ひぁ
ぐりゅ
ぐちゅ
やぁ…
もうダメ…っ
イキそう…っ
そんなに
動かしちゃ…
ず
ぬ
ぶぢゅ
ぐぢゅぷ


ビクンッ
あ…
ヤダぁ
あふ…っ
あふれちゃうっ
ブシャアアアア
ビクッ
ビクンッ
あ…
はっ
やあぁあっ
うわ…
なんか出た…
ドキ
ドキ
ドキ


はぁー
はぁ
ヒクッ
ヒクッ
ヒクッ
わ
私も…
いっぱい
出しちゃった
う…
キュウウウ
ムクムク


ちづる姉ちゃん!
がばっ
わ
どうしたの?
小太郎君
俺―もっと
気持ちよー
なりたい
ちづる姉ちゃんの
気持ちよさそうな顔
もっと見たい!
ダメか?
くす
あ…っ
きゅ
またこんなに
大きくしちゃって
しょうがない
わね


いいわ
私がリードしてあげる
私のココ…よく見て
!!
さっきは夢中でようわからんかったけど
こうして目の前で見てると
もっと…
顔近づけて…
うん…
ヒダみたいのがヒクヒクしとる
奥まで見える？
それは小太郎君に見られてるからよ…
私ももっと気持ちよくなりたいの
はぁ
はぁ


今度は指じゃなくて
小太郎君のおちんちんで…
あ
一緒に気持ちいいコトしましょうね
あ
は
しゃこ
しゃこ
しゃこ
しゃこ
ち…ちづる姉ちゃん
そんなんしたらまた出てまう…
もう中に入れさせて…
はぁ
はぁ
アラアラ…
でもすぐに入れてはダメ
ぐり
入口のとこでぐりぐりしたり…んっ
ぐり
こうしてクリトリスを刺激しながら…
あっ
小太郎君のおちんちんに
私のいやらしい汁をぬりつけて…
はう
ぬりゃ
ずりゅっ
ぬちゃ



う…
んくっ
にちゅっ
にゅっ
にゅるっ
んう
あっ
そ…そうよ
そうやってじらすのぉ！
すごいわ…っ
クリ○リスがしびれるっ
はっ
はっ
も…もういいわよ
はぁ
ヒク
ヒク
はぁ
中に入れて…


そ…
それじゃ…
くっ
あはぁっ
入れるで…
ぬ…
ぬ…
あッ
ひ…っ
く…っ
ビク
ひぁ…っ
あ…ああ…
ビクッ
ビク



ヌルヌルして
あったかくて・
すげー
気持ちええ
あっ
はん
わ 私もよ…
はっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
あぁ
おちんちんが
出たり
入ったり っ
すご…
すごいわ
小太郎君っ
はっ
あぁっ
ぬぼっ
ずぼっ


あ…はぁあ…っ
んっ
わた…私…もういキそ…
ああっ
イ…
あっ
ヌチュ
ズチュッ
ブチュッ
いっ
ピ
タ
い…ク…
も…
…あっ?


どっ・どうして・・
?
俺――
なんとなくわかってきたかも・・
さっきのイッた顔もええけど・
あっ
ぐいっ
やっ
あんっ
こういうじらし方もええやろ?
ペロッ
ズプッ
ヌプッ
イきそうでイけへん時のんがかわええわ
こた・・ろ―


あ…
ぬぷ
そこはお尻の…
あんっ
ググッ
ズプ
はうっ
ズンッ
ズンッ
それダメぇ！
やぁ…イク…
イきそう…っ
ヒク
ヒク
ヒク


おっと
あっ
ズボッ
アブナイ
アブナイ
ピ
タ
ま
は…
は…
また…あ
もう
じらさないで
ぬぷっ
ぐぷっ
うわ
イきたいの
イかせてぇ！


いじわるしないで
お願いーっ
ポロ
ポロ
うわー…かわええー
すげーかわええ!
ザワ
わ…わかったわかったもういじわるせぇへんから・
ザワ
ホントに?
あぁホンマホンマ
そのかわり…
ザワ
ザワ
ず
ぷ
今度は後ろからや
…あ
ず…
ず…
は…っ


ズン
はぁあああっ
ぐ…っ
キツっ
ひぁ
完全に
獣化してもうた
からか…
シュウウウウ
ヒク
ヒク
あ…
は
さっきより
太…いっ…


あ
ぬぼ
じゅぼっ
ずぼっ
んぐ
ぷるんっ
ぷるっ
ひっ
んっ
や…
イク…っ
もう…
イッちゃう
ううっっ!
ビュッ
ぴゅるるッ


うわ…
ちづる姉ちゃん
また何か
吹き出しとるで？
やらしいなぁ
は
んっ
ふっ
ぱた
ぱたた
そんなに
気持ちよかったん？
う…うん
すごく
そら
よかったなぁ
でも
自分だけ先に
イッてまうのは
ズルイわ
俺が
イクまで…
ひは
ズル
ズルルル
んう


パン
パン
パン
たぷ
たぷっ
もう少し
付きおうてや!
んぐぅ
ちょ…
ちょっと待って…
ダメや
我慢
我慢っ
まだ…
イッたばっかり…
休ませて…
そんな
あ…
あんっ
ずぷっ
ずぷ
ずっぷ



もう少し…
もう少しで…
あっ
ぶるん
ぶるっ
早く…
早く
イッてぇぇ
ずん
ずん
ずんっ
ずん
やぁ…っ
おかしく…
なっちゃ…
はう…んっ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱんっ
くぅ
ビク
で…
出そうや…


う…ッ
ビクッ
ああっ
ビク
ビュッ
ドク
ビュッ
うあ…
い…いっぱい…
ビク
いっぱい
出て…る…っ


はぁー
じゅうう
もう動けへん
はぁー
はぁー
ただいまーっ
ちづ姉ー
お風呂ー？
!
部活で
汗かいたから
一緒に入っても
いいかなぁ？
ぬぎ
ぬぎ
え
あ・・
ちょっと
夏美・・
今は
ダメ
ガラガラー
…あ

-END-


今度はどこでする？
…どこでも。